

令和5年度司文庫基金運営委員会 会議要録

■開催日時 令和5年10月12日(木) 午前10時～10時35分

■開催場所 中央図書館 3階 第2・3会議室

■出席委員(5名)

金田文子委員、高須博久委員、田村圭司委員、西村なぎさ委員、秦 正子委員

■事務局(8名)

(美術博物館) 岡田館長

(図書館) 齋藤館長、岩瀬副館長、津滝補佐、佐藤補佐、
永井主査、遠藤主査、富田

■議事概要

1. 開会
2. 館長あいさつ
3. 議題
 - (1) 委員長、副委員長の選出について
 - (2) 令和4年度事業報告について
 - (3) 令和5年度事業について
 - (4) その他

■発言要旨

(事務局)

正副委員長が決まるまで、事務局が議事を進めます。

<図書館長あいさつ>

<委員及び職員各自自己紹介>

(事務局)

豊橋市司文庫基金運営委員会要綱第5条第1項(委員の互選による委員長及び副委員長を置く)に基づき、正副委員長の選出をお願いしたい。

(委員)

委員長に金田委員を、副委員長に高須委員を推薦する。

<全員異議なし>

(事務局)

令和5年度豊橋市司文庫基金運営委員会の委員長を金田文子委員に、副委員長を高須博久委員に決定した。議題(2)以降の進行は、委員長にお願いする。

(委員長)

議題(2)の「令和4年度事業報告」と司文庫の経緯について、事務局に説明をお願いする。

<事務局が、資料に沿って説明>

(委員長)

質問はございますか。 質問なし。
次に議題(3)の「令和5年度事業」について説明をお願いする。

<事務局が、資料に沿って説明>

(委員長)

質問はございますか。
司文庫として図書を購入し、美術博物館に設置する件についてご意見はございますか。
現状の司文庫のコレクションとはジャンルが違うかどうか。

(委員)

「購入不可」とは、絶版ということか。

(事務局)

品切れや絶版になっている図書のこと。

(委員)

美術だけではなく、歴史に関する展示室もあり、これだけの図書を購入して美術博物館に設置することは、利用者にも役立つことだと思う。是非、小中学校の児童・生徒にも利用してもらいたい。

(委員)

大人だけでなく子どもにもわかる図書があるので、親子で楽しく深く学べるため良いと思う。美術博物館に来館するきっかけになると良い。

(委員)

図書館が身近にないと図書に触れる機会が少なくなるが、図書館以外でも図書が利用できることは良いことだと思う。美術博物館で、展示している資料を図書を読んで学んでから実際の展示品に見て触れることで、五感で学ぶことができる。

(委員長)

子どもたちが図書を利用できることに関して意見があるが、ほかに意見はあるか。

(委員)

美術館や博物館では、展示資料の説明を読むことが多いが、それらに関する図書があれば、自分が興味を持ったものを図書でより深く学ぶことができ、子どもたちにはとても良いことだと思う。

(委員)

偶然立寄った場所で発見したものに興味を持ち、そこから調査をしてより興味の幅が広がり、学びとして深まり知識として蓄積され、このような循環ができると良い。また、その仕掛けが美術博物館に設置する図書でできることは素晴らしいことだと思う。

(委員長)

司文庫として図書を購入し、美術博物館に設置する件については賛成ということでしょうか。

<委員全員 異議なし>

(委員長)

引き続き、「令和5年度事業」の説明をお願いします。

<事務局が、資料に沿って説明>

(委員長)

質問はございますか。

(委員)

司文庫展のアンケートでは、どのような意見があったか。

(事務局)

アンケートでの意見では、司文庫の認識度がまだ低いと感じている。今回の展示では、司文庫以外でも江戸時代に書かれた資料もあり、それらを実際に見ることができてよかった、展示に何回も通って古い貴重な資料を見たとの意見もあった。

(委員)

そのような良さを知っていただけることは、いいことだと思う。

(委員長)

以上で、司文庫基金運営委員会を終わります。ありがとうございました。